



Title	豊中分室ヘリウム液化装置更新について
Author(s)	低温センター豊中分室
Citation	大阪大学低温センターだより. 2002, 119, p. 28-28
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/5616
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

お知らせ

豊中分室ヘリウム液化装置更新について

低温センター 豊中分室

前号（4月号）でお知らせしましたように、豊中分室のヘリウム液化装置の更新が決まりました。

3月末に行われました入札の結果、小池酸素工業株式会社が設置を請け負うことになり、液化装置は200リットル／時の液化能力を持つリンデ社製 TCF50に決まりました。液化能力が現在の2倍となるため、液化装置のみならず周辺機器も非常に大型化し、設置スペースの確保、床強度の強化などのために施設工事が予定されています。現在の工事計画は11月上旬から来年の2月末までとなっています。したがって、低温センターからの液体ヘリウムの供給は10月25日頃を最終供給日とし、その後1週間の間にできるだけヘリウムガスを回収し、工事期間中は回収も停止する（したがってガスは大気放出します）予定です。更新期間の約4ヶ月間は低温センターからの液体ヘリウム供給が停止するため、現在調達センターにて外部業者からの購入手続き（入札となる予定です）を進めています。

また、液体窒素貯槽も更新します。現在のところでは10月下旬から11月上旬にかけて貯槽を入れ替える予定です。窒素貯槽に係る工事期間は2～3週間で、この間は低温センターからの供給ができません。工事期間中の液体窒素については、どういった形で業者に納入してもらうか、また小分けはどのように行うか、小分けの際の場所等、複雑な問題があり、小池酸素工業㈱、液体窒素納入業者、調達センターと現在調整中です。詳細が決まりましたら、あらためてご連絡いたします。

工事期間中はユーザーのみなさまには大変ご不自由をおかけいたしますがご理解いただき、更新計画がスムーズに進むようご協力をお願い申し上げます。